



## 諏訪ドリーム

(公財)日本少年野球連盟 長野県支部

## 諏訪ボーイズ

ホームページ

<https://suwa-dream.jp/>



# チーム説明

NAGANO SUWA  
諏訪ボーイズ  
Dream

○ 諏訪ボーイズは「公益財団法人日本少年野球連盟(通称ボーイズリーグ)長野県支部」に所属する、中学生の硬式野球チームです。

○ 中学生の硬式野球

リトルシニアリーグ、ボーイズリーグ、ヤングリーグ、サンリーグ、ジャパンリーグ等、数多く存在します。



○ 公益財団法人日本少年野球連盟『ボーイズリーグ』 本部 大阪市 浪速区

ボーイズリーグは全国に41支部があり、現在小・中あわせて約720チームが所属する、国内有数のリーグとなっています。

○ 公益財団法人日本少年野球連盟『ボーイズリーグ』 長野県支部

当初は山梨県支部に所属していましたが、長野県内のチーム数増大により、平成21年7月より長野県支部が設立され、現在は長野県支部所属チームとして活動をしています。(現在は長野6チーム新潟3チーム)

○ 諏訪ボーイズ (旧称：諏訪ドリームボーイズ)

チーム事務所 諏訪市大手1-5-4 (株)ファイナルトレーナーズ内

ホームページアドレス <https://suwa-dream.jp/>

諏訪ドリームは平成13年に硬式野球に転進し、全日本少年硬式野球連盟に加入、同年夏季選手権大会(夏の全国大会)でいきなり準優勝の成績を収めることができました。その後も、春夏合わせて10季連続で全国大会出場を果たし、その成績により17年末には関東支部からの表彰を受けることとなりました。

平成19年ヤングリーグ最後の夏の全国選手権大会でも、準優勝した「全播磨硬式野球団」に2対3のサヨナラで惜敗したものの全国ベスト16となりました。

平成19年9月より、より大きな組織である「ボーイズリーグ」に移籍し、チーム名も「諏訪ドリームボーイズ」として、より高みを目指しての活動を目指しています。

平成21年春には、念願の全国大会出場を果たし、同年夏の選手権大会(全国大会)にも出場、見事に全国ベスト8の成績を収めました。その後も好成績を収めることができ、24年春の全国大会でもベスト8、25年夏季選手権でもベスト16等となっています。

平成25年からはボーイズ連盟本部のリーグ方針により、チーム名は地名のみとなったため、「諏訪ボーイズ」と正式名称は変わりましたが、チームの愛称やロゴはそのまま「ドリーム」とし、先輩たちの「思い」を継ぎ、かつ地域に愛されるチームとなるべく活動しています。

令和4年は第53回日本少年野球選手権大会長野県支部予選で優勝し、全国大会に出場致しました。

また、ボーイズリーグとリトルシニアリーグの上位チームが出場する全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ長野地区大会においても優勝致しました。

○ チームの方針

1 < 自主自立 > 自分たちのことは、自分で責任を持って行う。

2 < 文武両道 > 運動ばかりでなく勉強も頑張る。

3 < 感謝礼節 > 協力して下さる人に感謝し、礼儀正しくする。

以上の3項目を基本として活動しています。

また、当チーム創立者で長きの間監督を務めた、故吉田名誉監督が好きだった言葉「全ての事は心から始まる」・・・その思いと指導方針を現スタッフも継承しています。

NAGANO SUWA  
諏訪ボーイズ  
Dream

## 令和6年諏訪ドリーム役員一覧

### ☆ (公財) 日本少年野球連盟 (ボーイズリーグ) 長野県支部 諏訪ボーイズ

代 表	藤森 一彦	(連盟評議員・長野県支部副支部長・事務局長)
副代表	茅野 和弘	・ 柳原 正 ・ 小河原 皓也 ・ 有賀 隆人
監 督	高野 哲也	
助 監 督	三澤 達也	・ 矢島 嘉紀
顧 問	北澤 優	・ 河西 正訓
ヘッドコーチ	峯村 和男	
コ ー チ	五味 好幸	・ 小口 智之 ・ 大場 功一
OBコーチ	吉田 瑞貴	・ 中村 真徳 ・ 小澤 駿
事 務 局	事務局長	五味 好幸 副事務局長 伊藤 直樹
	事 務 局	有賀 隆人 ・ 小池 重成
会計理事	江島 伸二	
広 報	柳原 正	
長野県支部役員派遣	小池 秀昭	(長野県支部会計担当理事)
チームドクター	ファイナルトレーナーズ	(吉田瑞貴：1期生、吉田名誉監督長男)
※名誉監督	故 吉田 功	(ドリーム発足者、平成23年5月没)

### ☆ 諏訪ドリームOB会

会 長	濱 尚
副 会 長	井口 克己 ・ 阿部 洋典
幹 事	林 則之 ・ 吉田 瑞貴

### ☆ チーム審判部

BL2級・BL3級資格取得者

## ○ 令和5年諏訪ドリームボーイズ 選手就学先

選手総数 38名

		諏訪市	岡谷市	茅野市	下諏訪町	その他
3年生 (第24期生)	11名	諏訪 2	岡谷北部 2	茅野東部 2		
		諏訪南 1	岡谷西部 1	長峰 4		
2年生 (第25期生)	7名	諏訪 2	岡谷北部 1	茅野東部 1		
		諏訪南 2				
		諏訪西 1				
1年生 (第26期生)	10名	諏訪 2	岡谷北部 1	長峰 1		才教学園 1
		諏訪南 3				
		諏訪西 1				
		清陵高校附属 1				

## ○ 諏訪ドリームOB進学先

※ ( )内の数字は、進学したが野球部に所属しなかった者の数。

初代 (H13年度) ～ 11期 (H24年度)	清陵 13(2)	二葉 5(1)	諏訪実業 3(2)	向陽 12(2)	岡谷工業 5(1)
	岡谷南 4	山梨甲陵 3	東海 7(3)	松商学園 6	松本第一 1
	志学館 1(1)	武蔵工大二 5(1)	都市大 2	上田西 1	日本航空 2
	前橋育英 1	慶応義塾 2	立命館宇治 1	長野日大 1	創造学園 1
	帝京第三 1				
12期 (H25年度)	二葉 1	諏訪実業 1	岡谷南 1(1)	岡谷工業 1(1)	松商学園 3
	都市大 1	育英(兵庫) 1			
13期 (H26年度)	清陵 4(1)	二葉 1	岡谷南 2	松本深志 1	東海 5(1)
	都市大 1	山梨甲陵 1	加藤学園 2		
14期 (H27年度)	清陵 3(1)	二葉 2	岡谷南 3	岡谷東 2(1)	東海 1
	長野日大 1	福井工大附 1	地球環境 1(1)		
15期 (H28年度)	清陵 4(1)	二葉 3(1)	諏訪実業 (1)	向陽 1	岡谷南 1
	富士見 1	松本深志 1	東海 2	福井工大附 1	
16期 (H29年度)	清陵 4(1)	二葉 1	諏訪実業 1	茅野 (1)	岡谷南 1
	松本深志 2	東海 2	都市大 3	日本文理 1	花咲徳栄 1
	早稲田実業 1				
17期 (H30年度)	清陵 1(1)	二葉 1	岡谷南 2	岡谷東 1	東海 3(1)
	都市大 2				
18期 (H31年度)	岡谷南 2	岡谷東 1	諏訪実業 1(1)	松商 1	加藤学園 1
	開誠館 1	駿台甲府 1			
19期 (令和2年度)	清陵 3(1)	向陽 3	岡谷南 1	岡谷工業 1	都市大 2
	帝京第三 2(1)	加藤学園 1	駒沢苫小牧 1		

20期	(令和3年度)	清 陵 2	岡 谷 南 2	岡谷工業 1	松商学園 1	加藤学園 1
		駿台甲府 1				
21期	(令和4年度)	清 陵 1	向 陽 2(1)	岡 谷 南 2(2)	東 海 1(1)	松商学園 1
		都 市 大 1	上 田 西 1	帝京第三 1		
22期	(令和5年度)	清 陵 2	二 葉 1	岡 谷 南 3	岡谷工業 1	諏訪実業 1
		松商学園 1	東海 諏訪 2(2)			
23期	(令和6年度)	清 陵 2(1)	岡谷工業 1	松商学園 1	上田西 1	長野日大 1
		神戸弘陵 1	帝京第三 1			

○卒業生野球関係者(一部記載)

10期生	松山 直弘	松商学園硬式野球部コーチ(経歴:同部第100代主将)
------	-------	----------------------------

日本代表でも捕手として活躍が期待される諏訪ボーイズの選抜選手

## 諏訪ボーイズ(岡谷北部中)

# 濱 惺也

## 世界少年野球 日本代表入り

来月4日からハワイ

米ハワイで8月4日から開催される硬式野球の世界少年野球大会に、諏訪ボーイズの濱惺也(岡谷北部中)が日本代表として出場する。日本少年野球連盟ボーイズリーグが全国ラウンドで実施した選考会を経て、18人の代表に選ばれた。強肩強打が魅力の大型捕手は「世界のレベルを肌で感じ、いろんなことを吸収しこれからは生かしたい」と貴重な経験を飛躍へのステップにする。(守屋高臣)

東日本ブロックの選考会は5月に群馬県伊勢崎市で行われ、関東甲信越、東北、北海道の14支部から推薦された中学3年生81人が参加した。濱は選考でトングラスの92kgをマークし、紅白戦形式の実戦ではランニング本塁打を言

### 強肩強打が魅力の大型捕手

むら打数2安打と持ち味の打力を発揮。東日本ブロックで5入の日本代表に選ばれた。諏訪ボーイズでは1番捕手でも務める攻守の要。182cm、75kgの恵まれた体格で、逆方向にも本塁打が打てる長打力が最大の売りだ。今季から左へ引く張りぢぢだった打撃を見直し、「レフトから右方向にも強く速く飛ばせるようになった」と濱。ティー打撃などでボールを引きつけて打つよう意識したことで、変化球への対応力も身に付いたという。

今年で41回を数える大会は日本、米国、メキシコ、オーストラリア、韓国から13チームが参加し、8日間の日程で予選リーグと決勝トーナメントを行う。日本代表でも捕手として活躍が期待される濱は「バッティングだけでなく、送球でも自分の強みを出してチームの勝利に貢献したい」ときっぱり。諏訪ボーイズの高野哲也監督は「向上心もあり、これからの楽しみな選手。高いレベルの中で刺激を受けて成長につなげてほしい」と送り出す。

◇東日本ブロック 選抜選手◇		選手名	チーム	位置	投打
NOMO JAPAN					
皆川	慧	山西	捕	外	右
吉澤	奏佑	東大和	投	内	右
世界少年野球大会・日本代表					
鈴木	大登	宮城	捕	外	右
黛	大恒	高崎	投	内	右
坂根	亮一	大田	投	内	右
濱	惺也	岡谷	捕	内	右
鶴岡大会・東日本選抜					
山田	宗通	小坂	投	内	右
星原	悠	宮城	投	内	右
小石	蒼	常陸	投	内	右
北田	修	茨城	投	内	右
吉田	修	水戸	投	内	右
神田	怜	鹿嶋	投	内	右
秋原	真	藤岡	投	内	右
茂原	大	高崎	投	内	右
井手	夢	高崎	投	内	右
清水	翔	大宮	投	内	右
金子	来	武蔵野	投	内	右
田島	陽	武蔵野	投	内	右
齋藤	啓	武蔵野	投	内	右
加高	友	武蔵野	投	内	右
金田	寛	武蔵野	投	内	右
東	春	武蔵野	投	内	右
徳		武蔵野	投	内	右

## ○ 練習場所

諏訪市清水町野球場を拠点とし、諏訪湖スタジアム、諏訪市スポーツ広場、市営岡谷球場、茅野市営球場、富士見町営野球場等の公共施設を利用させていただき、他、郡内の高校グラウンド、台東区霧ヶ峰学園の施設等もお借りしています。また、諏訪市内にて屋内練習場(クラブハウス兼用室内練習場1棟、ピニールハウス1棟・バッティング練習場1棟)を使用しています。

## ○ 練習日程

- ・ 土、日、祭日は、終日練習を行います。冬季、グラウンドが使えない場合は半日程度の練習となります。
- ・ 平日については、夏季は火曜日・木曜日の週2回、冬季は週1回の夜間練習があります。
- ・ 公式戦はもちろんですが、練習試合も積極的に行っています。練習試合は県内の他リーグ所属チームや、県外の同リーグ所属チームと行っています。
- ・ 年に2回程度、宿泊での合宿を行っています。
- ・ 各学校ごと、テスト前の一週間は、平日練習の休みと週末練習の早退を認めています。

## ○ 例年の年間試合概要

- 3月 春季全国大会
- 4月 関東ボーイズ大会 開会式:メットライフドーム(旧西武ドーム)
- 5月 長野県支部春季大会 ・ 上信越大会
- 6月 夏季選手権長野県支部予選 ・ 長野県支部夏季大会
- 7月 ジャイアンツカップ関東予選
- 8月 夏季選手権大会 ・ ジャイアンツカップ
- 9月 日本少年野球長野大会 ・ 長野県支部ジュニア大会
- 10月 春季全国大会長野県支部予選 ・ 東日本選抜大会
- 11月 長野県支部1年生大会

上記の公式戦の他、各地区大会や練習試合を行っています。

## ○ 練習用具

- ・ チーム所有品  
チームバット、キャッチャー用具、ピッチングマシン、バッティングゲージ、各種ネットゲージ、ベース  
バッター用ヘルメット、ピッチング用ヘッドギア、ラダー類、メディシンボール、他小物類
- ・ チーム統一品  
ユニフォーム、練習着、ゲーム用帽子、練習用帽子、ジャンパー、フリース、スパイク、トレーニングシューズ  
ヘルメット、移動着、バックパック等

## ○ 費用

- ・ 会費 月 / 10,000円
- ・ 遠征費 日帰りの場合 3,000~5,000円  
宿泊の場合 1泊2食 約10,000円 + バス代  
(参考 本年1泊遠征時は、15,000円程度)

## ○ ヤングリーグ(全日本少年硬式野球連盟)所属期

- 平成13年
  - ・ 夏季選手権大会出場 準優勝 (関東支部予選優勝)
  - ・ チャンピオン大会出場 初戦敗退
- 平成14年
  - ・ 春季全国大会出場 初戦敗退 (関東支部予選優勝)
  - ・ 夏季選手権大会出場 二回戦敗退 (関東支部予選優勝)
- 平成15年
  - ・ 春季全国大会出場 ベスト8 (関東支部予選優勝)
  - ・ 夏季選手権大会出場 ベスト8 (関東支部予選優勝)
  - ・ チャンピオン大会出場 3位
  - ・ 甲子園フェスティバル出場
- 平成16年
  - ・ 春季全国大会出場 初戦敗退
  - ・ 夏季選手権大会出場 初戦敗退
- 平成17年
  - ・ 春季全国大会出場 初戦敗退 (関東支部予選優勝)
  - ・ 夏季選手権大会出場 初戦敗退 (関東支部予選優勝)
- 平成18年
  - ・ 春季全国大会出場 初戦敗退 (関東支部予選準優勝)
- 平成19年
  - ・ 夏季選手権大会出場 ベスト16 (関東支部予選準優勝)

## ○ ボーイズリーグ(日本少年野球連盟)所属期

- 平成20年
  - ・ 山梨支部夏季大会 準優勝
  - ・ 長野県支部ジュニア大会 優勝
  - ・ 東日本選抜大会 ベスト8
- 平成21年
  - ・ 春季全国大会 初戦敗退 (山梨県支部春季選手権大会予選 優勝)
  - ・ 夏季選手権大会 全国ベスト8 (山梨県支部夏季選手権大会予選 優勝)
  - ・ 東日本選抜大会山梨・長野予選 優勝
  - ・ 世界大会ボーイズ選抜チームに1名出場(オールジャパン イタリア大会出場)
- 平成22年
  - ・ 大阪和泉大会 準優勝
  - ・ 長野県秋季大会兼春季選手権予選 優勝
- 平成23年
  - ・ 春季全国大会出場予定も、東日本大震災により中止
  - ・ 夏季選手権大会出場 初戦敗退 (長野県支部夏季選手権予選 優勝)
- 平成24年
  - ・ 春季全国大会出場 ベスト8 (長野県支部春季選手権予選 優勝)
  - ・ 夏季選手権大会出場 2回戦 (長野県支部夏季選手権予選 優勝)
- 平成25年
  - ・ 春季全国大会出場 2回戦 (長野県支部春季選手権予選優勝)
  - ・ 夏季選手権大会出場 ベスト16 (長野県支部夏季選手権予選 優勝)
- 平成28年
  - ・ 夏季選手権大会出場 2回戦 (長野県支部夏季選手権予選 優勝)
  - ・ 日本代表選抜(野茂ジャパン)に1名選出、アメリカ遠征に出場
- 平成31年
  - ・ 春季全国大会出場 初戦敗退 (長野県支部春季選手権予選優勝)
- 令和3年
  - ・ 夏季選手権大会出場 初戦敗退 (長野県支部夏季選手権予選 優勝)
  - ・ ジャイアンツカップ長野地区大会 優勝
- 令和5年
  - ・ 長野県支部ジュニア大会 準優勝
  - ・ 第9回本庄市長杯 ベスト4
- 令和6年
  - ・ 世界大会ボーイズ選抜チームに1名出場(ハワイ大会出場)
  - ・ 東日本選抜大会出場 (長野県支部ジュニア大会優勝)